

光透過窓

可視光透過性を有し、放射する赤外光の波長および放射方向を制御 することが可能な構造体

概要

可視光を透過させ、かつ、放射する赤外光の波長および放射方向を制御することが可能な構造体が存在すれば、ガラス窓への応用によりガラス正面へは熱放射せず、ふく射伝熱増強によって効率的に冷却できる窓ガラス等が可能となる。しかし、従来技術では、光透過窓高分子膜は高い反射性を有する材料の上に形成される必要があり、可視光の透過を必要とする光透過窓のような透明材料に適用することはできないといった課題があり、結果、可視光を透過させるとともに、放射する赤外光の波長および放射方向を制御することが可能な構造体は実現できていない。

本発明は上記課題を解決する可能性のある可視光透過性を有し、放射する赤外光の波長および放射方向を制御することが可能な構造体に関する。

出願未公開のため秘密保持条項を含む契約(通常;オプション契約等)締結後技術情報(出願明細書含む)を開示、事業化への適用検討可能です。
=>お気軽にご連絡下さい。

応用先

ガラス正面へは熱放射せず、ふく射伝熱増強によって効率的に冷却できる窓ガラス

特許データシート

特許番号(整理番号):特願2020-100337 (T19-462)
発明者: 清水 信、湯上 浩雄、山口 周平

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ
TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419
お問い合わせは、[こちら](#) からお願い致します。